

広報 まつど

市役所は3日(火)まで休みます

緊急のご用は☎66-1111番へ

編集・発行＝松戸市役所広聴部広報課
〒271 松戸市根本387番地の5 ☎(66)1111番



迎春

朝日に向かって寒げいこ（少林寺拳法部の皆さん）

市議会議員

渋谷 新太郎



本年は、第四次総合五か年計画がスタートします。これは二十一世紀を展望した、向こう五か年間の市政運営の具体的な計画を示すものであります。既に五か年計画も第三次まで完了しております。この間、市政の各分野にわたって着実に遂行され、二十一世紀に向かって着々と進んでいるところであります。物の豊かさから心の豊かさを求める時代へと移行している現代、夢のある創造性を追い、皆様が生きていられる市民生活を送れるよう、私達、市民の信託をいただいた全議員は、市の更なる躍進の年として、最大の努力を傾注する所存であります。何とぞ、倍旧のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。皆様のご健勝とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶と致します。

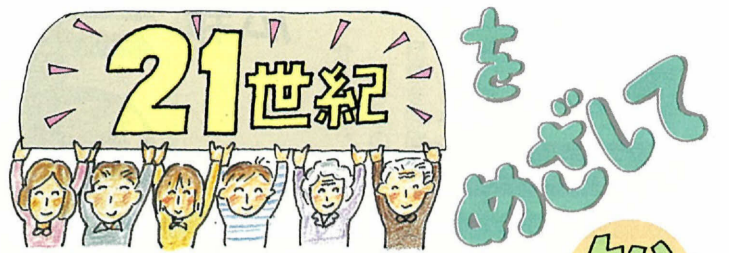
年頭のごあいさつ



市長

宮間 満寿雄

年頭にあたり市民の皆様にご挨拶を申し上げます。日ごと皆様には、市政に対しご理解と協力を賜りありがとうございます。お陰様で第三次総合五か年計画の事業も順調に進み、昨年十月には、次の五か年計画「二十一世紀をめざして」松戸わかまちプラン（松戸市第四次総合五か年計画）を策定することができました。昭和四十九年度に第一次総合五か年計画に着手して以来、私は、計画行政の積み重ねによって、急激な人口増加に伴うさまざまな課題の解消に努めてまいりました。いよいよ今年四月、第四次総合五か年計画がスタートします。これまでに築き上げた都市基盤の上に立って、二十一世紀を展望した松戸の理想像を実現するための、本格的な街づくりが始まります。四十五万市民の皆様が夢と希望が盛り込まれた、「松戸わかまちプラン」を達成するために、私は、新たな決意のもとに渾身の努力を続けたいと存じますので、どうぞ、引き続き市政に対しご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健勝とご多幸を心から祈念して、年頭のご挨拶と致します。



松戸わがまちプラン

第四次総合五か年計画

本年4月
スタート

市では、「二十一世紀をめぐして—松戸わがまちプラン」と題して、松戸市の将来を展望した行政を推進するため、第四次総合五か年計画（今年四月からの五年間）を策定しました。

一九八九年の新春にあたり、今後五年間、本市の市政運営の基礎となる計画の概要について特集しました。

今年四月から、いよいよ第四次目の総合五か年計画によるまちづくりが始まります。

これまで、三次・十五年にわたり、人口急増に対処した施設の整備や、教育・福祉の充実など、着実に施策を執行し、積み重ねてきました。

第四次総合五か年計画では、「二十一世紀をめぐして—

松戸わがまちプラン」と題して、「物の豊かさ」から「心の豊かさ」へと移行する市民の意識を反映し、真に生きがいのある市民生活を求めたまちづくりをめざしています。

また、人口の伸びも比較的に落ちついた傾向を受けて、人口急増対策のための施設整備だけではなく、「心の豊かさ」を求めた文化施設などの充実を図るとともに、国内全体が、着実に高齢化社会に向かっている実情に合わせ、幼児からお年寄りまでが安心して生活できる高度医療・老人福祉・健康づくりなどのための施策が盛り込まれ、積極的に展開していく計画となっています。

市民のニーズ

計画の策定にあたっては、たくさんの方の皆さんの参加をいただきました。

昭和六十二年四月から始まった計画立案の作業には、一万人を対象にした市民意識調査の結果を生かしながら、地区市民会議（市内十会場）や市民各界会議などを開催（別表①参照）し、単に、行政側だけで施策を決めるのではなく、市民の幅広いニーズを的確に生かしたまちづくりをめざしています。

市民アンケートの結果や、市民会議などからの意見や要望も、総数五百件にもおよぶ、施策づくりの大事な基礎となつて、計画づくりに生かされています。

計画人口（各年10月1日）

1989年	454,000人
1990年	460,000人
1991年	466,000人
1992年	472,000人
1993年	478,000人

主な事業

- ①市民福祉都市をめざして…市立病院附属病院・老人保健施設の整備。保健センターの設置。デイ・サービスとショートステイの充実。松戸市地域保健医療計画の推進。高齢者向けケア付き住宅の建設など。
- ②市民文化都市をめざして…二十一世紀の森と広場内への文化会館・郷土博物館・美術館の建設。音楽ホールなどの設置。コミュニケーションの推進。中央図書館・生涯学習センターの設置など。
- ③親縁快適都市をめざして…松戸駅周辺地域の再開発事業の促進。北小金駅南口再開発の推進。
- ④自立安全都市をめざして…松戸駅周辺商業地域の活性化促進。産業界の融合化促進。親しまれる農業の促進。歴史の散歩道の設置など。
- ⑤活力生活都市をめざして…

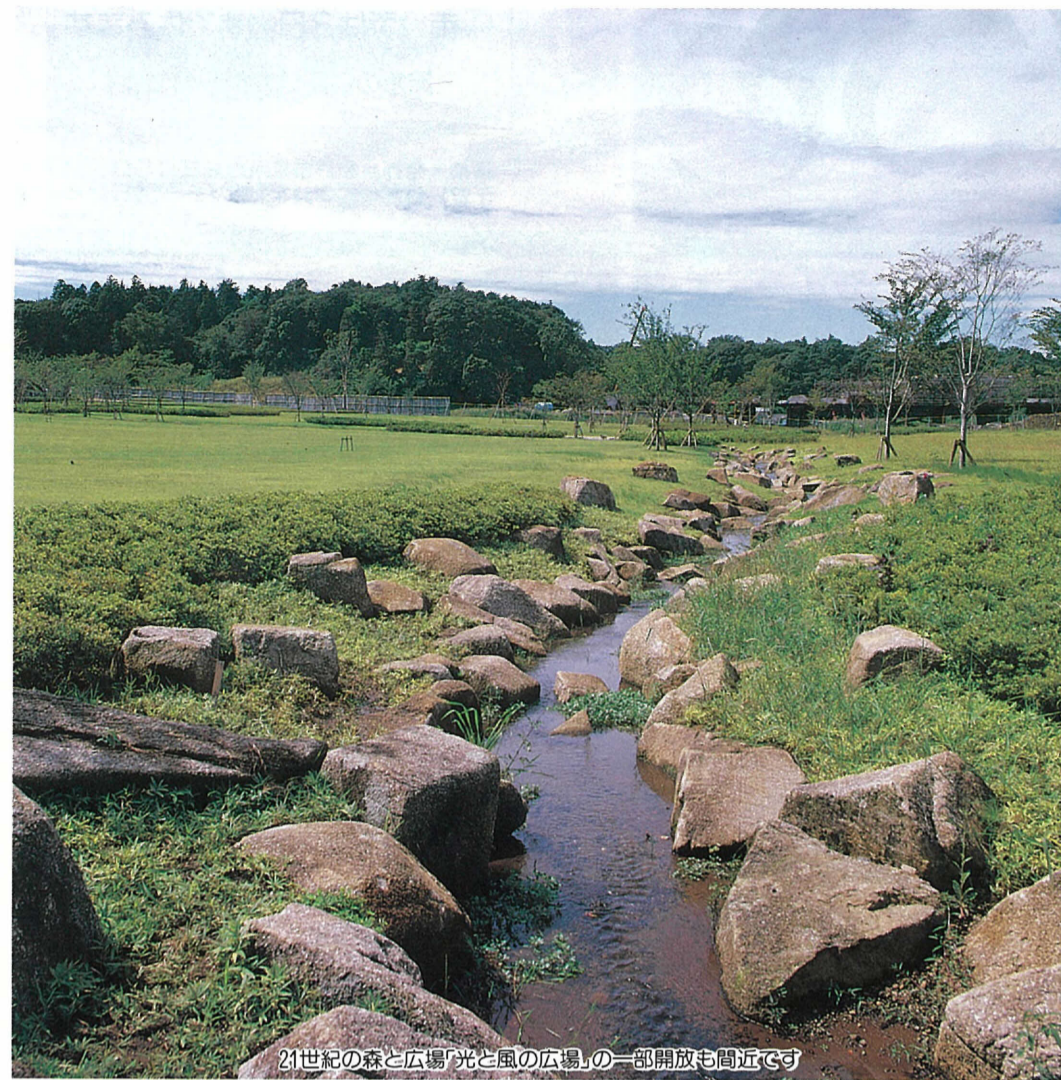
施策の体系

「物の豊かさ」から「心の豊かさ」へと移行し、真に生きがいのある生活を望む市民意識をもとに、「高齢化、情報化、国際化、文化行政、親縁・親水、都市景観、女性

の地位向上、社会的弱者への配慮、民間活力の導入」の九項目を施策の方向性としてあげ、五本の柱（別表②参照）にまとめています。

計画人口

第四次総合五か年計画最終年次となる、四年後の一九九三年十月一日の人口を四十七万八千人（昭和六十二年十月一日現在四十四万八千五百三十三人、五年間で約三万人の増と見込んでいます（左表参照）。



21世紀の森と広場「光と風の広場」の一部開放も間近です

第4次総合5か年計画策定の経過 別表①

年月	事項
昭和62年 4月	「第4次総合5か年計画策定要領」決定
7月	計画事業の立案に入る
11月	1万人を対象とした市民意識調査の実施
12月	計画事業の検討
昭和63年 12月	市民意識調査報告書の完成
4月	計画原案の検討
5月	市民会議への参加者一般公募
6月	原案を市議会全員協議会に報告
7月	地区市民会議の開催(10会場)
8月	市民各界会議の開催
8月	市民参加特別会議(第1回)
8月	市民会議などの意見・要望への対応を検討
9月	市民参加特別会議(第2回)
9月	最終案を市議会全員協議会に報告
10月	第4次総合5か年計画決定

市民の総意による

「わがまち松戸」づくり

松戸市は、第四次総合五か年計画の最終年次に市制施行五十周年を迎えます。

現在、全国二十六番目の四十五万人が住む大都市に成長し、さらに大きな飛躍を遂げようとしています。

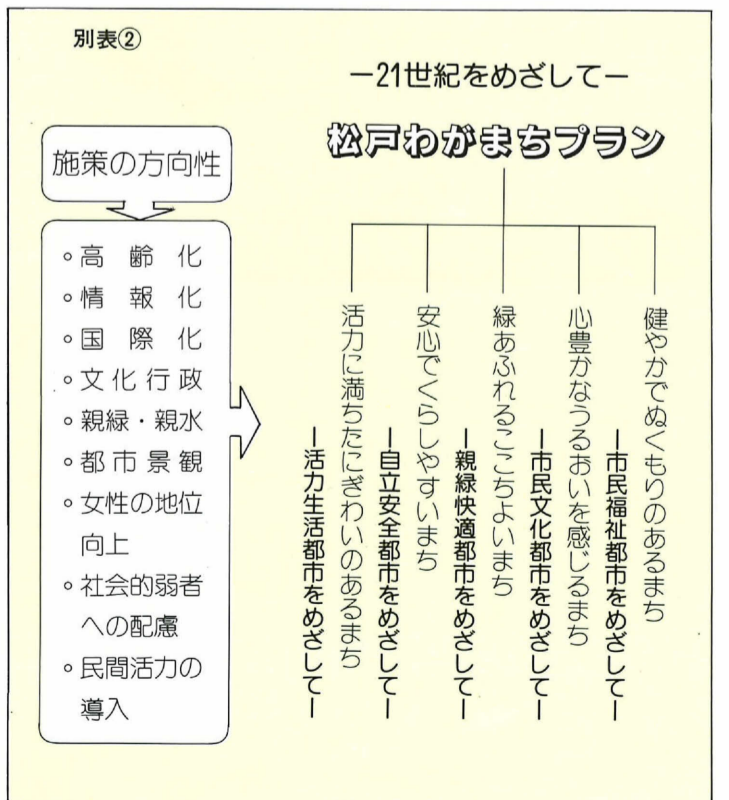
夢と希望に満ちた二十一世紀も、もうすぐです。

西暦二〇〇〇年をめざした理想的な都市づくりを進めるためには、さらに数多くの施策を強力に推進していかねばなりません。

松戸市は、ただ単に、たくさんの方が住んでいるだけのまちではありません。

それぞれが、限りなく大きな力を秘めているのです。

その市民一人ひとりの力を結果として、市民の総意で「わがまち松戸」づくりを推進し、真に、市民一人ひとりが生きがいを感じ、誇りをもって生活できるまちづくりをしていきます。



健やかでぬくもりのあるまち

— 市民福祉都市をめざして —

福祉

《地域福祉》

地域ぐるみ福祉の推進…多様な福祉需要にこたえ、地域ぐるみによる福祉サービス推進体制をつくりだします。
社会福祉協議会の育成・強化を図りながら、ボランティアの養成、各種団体への支援を検討していきます。
在宅介護の強化…ねたきり・同居老人・心身障害者の介護ニーズに応じ、より質の高い在宅サービスに努めます。

《高齢者福祉》

育成強化し、在宅ケア対象老人・介護者への生活指導事業を検討していきます。
総合福祉施設の設定…既存の福祉施設の機能を考慮しながら、総合的な福祉施設の設定を検討していきます。
日常生活の援助…デイ・サービス体制を強化し、ショートステイを充実しながら、ミドルステイについて検討を進めます。
施設の充実…社会福祉法人による特別養護老人ホームの建設促進・助成にあたること

《児童福祉》

児童の健全育成…ジュニアリーダーの育成など、児童相互のふれあいと健全な成長を図ります。
延長保育の拡大、乳児・障害児保育の充実など、保育ニーズに応じた充実を図ります。
児童施設の整備…借地により子どもの遊び場を毎年三方所設置できるように進めます。

《低所得者福祉》

生活の安定…生活保護など各種社会保障制度の拡充・改善を国・県に要請し、生活の安定を図ります。
自立の助長…各関係機関などと連携し、相談・指導・援助体制などを充実し、自立助長を促進します。
公営住宅の整備…良好な住宅を供給するため、百六十戸を目標に市営住宅を建設します。

《母子・父子福祉》

母子相談員・母子福祉推進員などと連携し、母子家庭の自立を図る相談・指導の充実を努めます。
公営住宅に母子世帯向け住宅の確保を図るとともに、各

《心身障害児(者)福祉》

社会参加の促進…市内社会福祉法人が建設する精神薄弱者通所授産施設に、定員五十人をめどに用地確保の支援・建設費の助成を行います。
援護対策の充実…精神薄弱者入所施設の定員拡大とともに、施設整備を図ります。
心身障害者施設を建設する社会福祉法人に助成して、入所定員を拡大するほか、公営住宅に身体障害者向け住宅を確保します。
聴覚障害者を援護する手話通訳者の強化を図ります。

保健・医療

《保健・医療の体系的整備》

包括医療システムの推進…一般医療から高度専門的医療サービスまで、提供機能の役割を明確にし、相互連携を強化し医療体制のシステム化を図るなど、乳幼児から高齢者に至るまで、生涯にわたる健康な市民生活が営めるよう、「松戸市地域保健医療計画」の実施を積極的に推進します。
予防・治療・機能維持までの一貫した地域歯科保健体制の確立を促進します。

《健康づくりの推進》

健康増進思想の啓発普及…市民の健康づくりを推進するための基礎的な知識の普及に努め、「市民健康づくりフェア」を充実するとともに、保健・医療サービスの啓蒙啓発を目的とした健康ガイドブックを作成します。

事業名	設置場所
中央保健センター	本庁地区
地域保健センター	小金地区

《保健サービスの充実》

地域保健活動の充実…乳幼児の発達段階に応じた健診・相談・指導を行い、母子保健体制の充実を図ります。
成人・老人の基本健診などの充実と、機能回復健康相談・訓練・訪問指導などを一層充実していきます。
健康増進センターの充実…国立療養所松戸病院移転後の跡地に、市立病院の附属病院設置をめざします。
救急医療体制の充実…休日当直医制と夜間急病診療体制を関係機関と協力し、一層の充実を図ります。



市民参加による健康づくり活動を推進しています(写真は歩こう会)



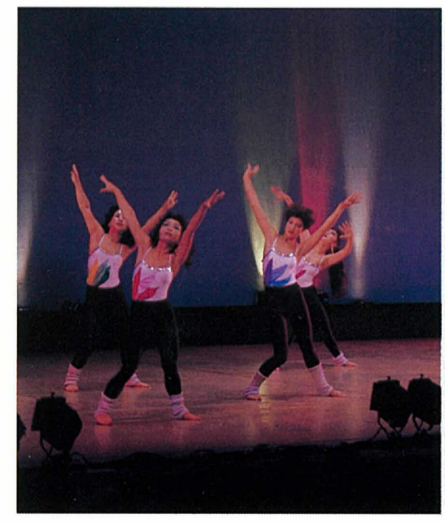
子どもの遊び場の整備を進めます



健康推進員による家庭訪問指導



市民に安心を提供する高度医療をさらに充実します(国保松戸市立病院)



ヘルスハイオニータウン事業を推進しています(写真はジャスト体操フェスティバル)



心豊かになろうるまを感づるまつどまち

—市民文化都市をめざして—

生涯学習

《推進体制》

者の経済的負担を軽減するため、市が行っている補助の拡充に努めます。

生涯学習拠点施設の設置：生涯学習の拠点となる「(仮称)生涯学習センター」を設置します。

《学校教育》

幼児教育の充実：私立幼稚園に通園する園児をもつ保護

小・中学校教育の充実：①教育内容の充実小・中学校にコンピュータ機器を順次導入して、児童・生徒一人ひとりの個性・能力に応じた、きめ細かな学習指導を行います。また、音楽を通じて豊かな心を育てるために、小・中学校に金管バンド、ブラスバンドを

市立高等学校の充実：コンピュータ機器を整備し、生徒の適性・能力を生かした学習指導を行います。国際化社会に対応できる教

編成・整備します。②教育環境の整備：学校規模の適正化を図るために、「(仮称)小金第二中学校」を新設します。③児童・生徒の健康管理：中学校給食については、市議会の「中学校給食懇話会」の答申を踏まえ、基本方針を定め、テスト的に実施します。その結果によって改善または漸次拡大を図ります。



馬橋小・中部小では、コンピューターを利用した授業が行われています(写真は馬橋小のコンピューター教室)



郷土歴史講座のわら細工教室(文化ホール)

市民文化

《社会教育》

社会教育施設の整備：中央図書館の建設を関係者との調整に努め、推進します。また、図書館を利用する人へのサービスの向上を図るため、市内図書館のコンピュータ網を充実させます。八ヶ崎地区に建設する市民センター内に、図書館分館を設置します。

《芸術・文化》

芸術・文化活動の推進：市民の自主的、主体的な芸術・文化活動を奨励し、各種芸術展や文化祭など、文化に接する機会・発表の場の充実に努めます。特別展「地図にみる松戸の歴史」を開催します。芸術・文化施設の整備：二十一世紀の森と広場の中に文化会館、郷土博物館、美術館を建設します。文化会館の建設は、市制施行五十周年記念事業として行

《文化財》

うもので、千五百〜千人収容の大ホール、四百〜五百人収容の小ホールを設置します。また、民間の協力を得ながら、音楽ホールの設置を図ります。文化財の保護・啓蒙：豊かな自然景観や、数多くある文化財・史跡などに親しみながら、「歴史の散策道」として散策できるコースを設定します。また、歴史的にも貴重な長屋門、小金牧の野馬除上手、埋蔵文化財などの保存を図り

《国際理解》

姉妹都市協会の充実：姉妹都市オーストラリア・ボック事務所の充実：県旅券事務所東葛飾分室、常設の機関になるよう県に要請します。国際理解教育の推進：外国



紅葉のきれいな本土寺

コミュニティ

《コミュニティ活動》

八ヶ崎地区に市民センターを建設します。また、集会所の建設を引き続き積極的に助成していきます。

《イベントの充実》

四年後に迎える市制施行五十周年を記念して、市民参加の各種イベントを開催します。

市民スポーツ

《スポーツ活動》

スポーツ施設：本庁・矢切地区のコミュニティ体育館を建設します。調整池などの公共用地を利

用して、ソフトボール、サッカー

カーナができる運動施設を整備します。また、夜間でも校庭を運動場として利用できるように、地域の理解と協力を得て、順次、施設の整備を行います。



多くのサークルが市内で活動しています(写真は社交ダンス)



今年、四月からナイターが楽しめる運動公園野球場

緑あふれる いちよいちまち

— 親緑快適都市をめざして —

魅力あるまち

〈21世紀の森と広場の整備〉

「二十一世紀の森と広場」は、松戸市のほぼ中央に位置した千駄堀と八ヶ崎の一部に建設されています。開放的な広い芝生広場の「光と風の広場」をはじめ、自

然「レクリエーション」「文化の三つをテーマにしたさまざまな施設の建設が計画されています。開園については、整備の完了したゾーンから市民の皆さんに開放し、一九九三年までには、ほぼ完成する予定です。また、公園内には、文化会館、郷土博物館、美術館を設置します。

「二十一世紀の森と広場」は、松戸市のほぼ中央に位置した千駄堀と八ヶ崎の一部に建設されています。開放的な広い芝生広場の「光と風の広場」をはじめ、自



開放に向けて着々と整備が進んでいます（二十一世紀の森と広場）

緑と水

〈緑と水の調和〉

計画の策定：親しみのある水辺空間を創造していくため、マリーナ計画など親水構想について調査・研究を進めます。

「仮称「緑と水辺の基金」の設立：豊かな緑、美しい水や水辺を保護・育成・創造する気運を盛り上げるために、基金を設置し、各種事業を支援していきます。

坂川清流復活：坂川に清流を復活させ、景観を美しく、水に親しめる水辺をつくりま

〈緑の保全と育成〉

緑化の推進：街路樹マスタープランにもとづき、街路樹を引き続き植栽していきます。緑地・樹木の保護：「松戸



豊かな緑に囲まれた戸定館

坂川清流復活：坂川に清流を復活させ、景観を美しく、水に親しめる水辺をつくりま

〈都市公園〉

都市緑地の整備：「まごも池」とその周辺を、水に親し

めるレクリエーション機能をもち都市緑地として整備します。

歴史公園：戸定館のある戸定周辺を歴史公園として整備し、開園します。

あわせて、徳川昭武公ゆかりの品々を展示できる資料館を設置します。

生活環境

〈上水道〉

安定供給の確保：第五次拡張事業の整備計画を引き続き行います。

また、配水管の耐震性の向上を図ります。

生活用水の向上：安全な水

水質汚濁・騒音・振動などの公害に対し、規制や

〈公害対策〉

環境監視体制の強化：大気・悪臭・水質汚濁・騒音・振動などの公害に対し、規制や

〈廃棄物処理〉

ゴミ処理体制の充実：六和クリーンセンターを更新し、クリーンセンターを整備します。最終処分場の確保：不燃ゴミ・焼却灰の最終処分場を県内に確保するように努めます。

安心でくらしやすいまち

— 自立安全都市をめざして —

市街地整備

《既成市街地の整備》

市街地再開発：松戸駅を中心とする東西の広範な地域について、市街地整備のためのマスタープランを策定し、再開発事業を促進します。
また、北小金駅南口の再開発事業を完成させ、各駅周辺についても再開発事業を積極

的に推進します。
(仮称) 矢切・栗山駅の駅前広場を整備します。

《新市街地の整備》

土地区画整理事業の推進：紙敷・秋山・関台・千駄堀の各土地区画整理事業の早期完成を目指して、積極的に促進していきます。

道路交通体系 公共交通体系

《都市計画道路》

広域幹線道路：県道松戸鎌ヶ谷線の五香路切立交差の早期完成などを、県に強く要請していきます。

市内幹線道路：都市計画道路の整備を推進します。(下表参照)

路線番号	路線名	概要および位置
3・3・7	横須賀紙敷線	五分年計画内に完成(八ヶ崎・千駄堀・常盤平)用地買収に着手し、一部着工(幸合・二ツ木)
3・3・30	南花島口暮線	用地買収を継続し、順次施工(松戸新田地先・穂台地先)
3・4・20	岩瀬 串崎新田線	用地買収を進める(串崎新田地先)
3・3・6	三矢小台 主水新田線	施工方法を決定し、工事に着手(中和倉・千駄堀)

《鉄道網》

地下鉄十一号線の延伸：早期実現を目指して、関係機関に力強く運動を続けます。
北総開発鉄道の開通：早期

開通を目指します。
新駅の設置：JR武蔵野線に「(仮称)千駄堀駅」の早期開設を促進し、「(仮称)JR紙敷駅」の設置についても引き続き運動していきます。

輸送力の増強：JR常磐線・新松戸駅に快速電車が停車できるように、要請します。

《バス網》

路線の新設・整備：鉄道新駅の設置による市街地開発に合わせて、バス路線の新設・見直しを関係機関に要請・協議していきます。



上空から小山・松戸方面を望む(手前が矢切方面)



矢切台地を抜け都内に向かって延びる北総開発鉄道

治水対策

《河川の整備》

国分川分水路事業：坂川合流部から下流までを計画期間内に完成させ、上流になるトンネル部についても同時期の完成を県に要請します。

都市河川の整備：①上富士川改修(国道横断部分を早期に完成させ、引き続き上流への整備を進めます)。

②春木川(県事業での本格的改修を強く要請していきます)。

③柳原排水樋門・排水機場(それぞれ早期完成・着工を県に要請します)。

④樋古根川の整備(早期完成を県に要請します)。

⑤樋野口排水樋門・排水機場(設置・増設の早期着工を要請します)。

災害対策

《防災体制》

防災機能の整備：市内各地区に備蓄倉庫を設置するとともに、災害時の飲料水を確保するために、小金地区・常盤平地区に耐震型飲料用貯水槽を設置します。

《消防・救急体制》

消防力の充実：大金平地区・八ヶ崎地区に消防分署を設置します。

救急・救助体制の整備：特別救助隊を増設し、人命救助体制を拡充整備します。



突然の災害に備えて、日ごろから準備を(写真右は総合防災訓練・写真左下はガス災害対策合同訓練)

交通安全・防犯

《交通安全対策》

交通安全意識の高揚：学校での交通安全教育を行うとともに、高齢者を対象にした安全教育を実施します。

交通安全施設の整備：自転車駐留場・歩道・ガードレールなどを整備していきます。

《防犯対策》

防犯施設の整備：防犯灯の設置を助成し、整備を促進します。



活かに満ちたにぎわいのあるまち

— 活力生活都市をめざして —



秋の味覚がいつばいの観光梨園

商工業・農業

〈商業〉

地域商店街の整備：商店街の共同事業を促進し、アーケード・カー・舗装の歩道などの設置を推進します。

〈工業〉

市内産業界が共同して、異業種間で交流・開発・事業化を図ろうとする「融合化運動」を支援します。

〈農業〉

生産基盤の整備：主要野菜の作柄安定と生産性の向上を図るため、畑地かんがいなど生産基盤の整備を進めます。

集団産地の育成：品質と生産性の向上を図るため、バイオテクノロジーなど、新しい技術を活用した施設などの整備を進めます。

・野菜の特産品を松戸のふるさと産品としてPRに努めます。

また、観光梨園をさらに魅力あるものとし、その利用促進を図ります。

消費生活・労働環境

〈消費者の保護〉

消費生活センターの充実：消費生活全般にわたる問題にきめ細かく即応できるよう、「松戸市消費生活センター」を充実します。

計量の適正化：計量検査室の検査設備を整備します。

〈労働環境の整備〉

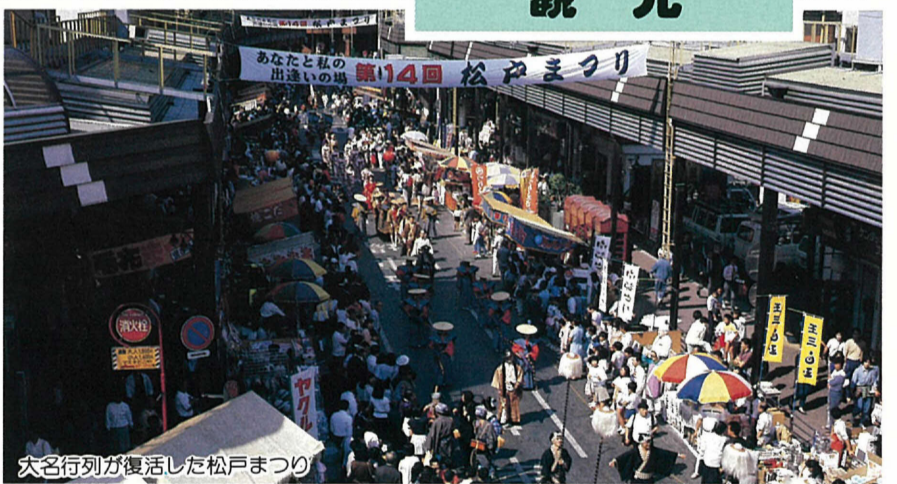
雇用の安定と促進：雇用の

安定と促進を図るため、国・県や関係団体などと連携・協調していきます。

勤労福祉の推進：勤労者相互の交流・親睦を図るため、文化・スポーツ・レクリエーションなどの活動を奨励していきます。



観光



大行列が復活した松戸まつり

〈観光の振興〉

観光資源の整備：松戸駅東

西自由通路に、市内の観光案内、特産品・名産品、地場産品の製品などを展示して、観光・物産を広くPRします。

イベントの育成：松戸まつり、桜まつり、花火大会などの各種イベントを育成していきます。



たくさんの人が集う桜まつり

その他

広報機能の充実：市の仕事・窓口事務などをわかりやすく紹介した市民手帳を、全世帯に配布します。

また、情報公開制度について、市民主導で制定されるよう、計画を策定します。

では、個人情報保護条例との整合性をもたせて、条例を制定して、確立を図ります。

市民意識の高揚：市民憲章が市民主導で制定されるよう、計画を策定します。

積極的に支援していきます。

また、世界平和都市宣言の趣旨を広く市民の皆さんに訴え、モニュメントなどの設置を図ります。

女性の地位向上：女性の地位向上に取り組むため、広く啓発活動を推進し、婦人行動計画を策定します。

市制施行五十周年

昭和十八年に市制が施行されて以来、松戸市は、市民の皆さんのたゆまぬ努力により、順調な発展を遂げ、現在、市域面積六一・二平方キロ、人口約四十五万人（全国第二十六位）の都市までに成長して

きました。

この計画の最終年次、一九九三年には、市制施行五十周年を迎えようとしています。

こうして築いてきたまちを受け継ぎ、夢と希望を託しながら、次代へと伝えていか

なければなりません。

市制施行五十周年を、二十一世紀に向けて大きく飛躍する絶好の契機として、市民の皆さんが参加できる、さまざまな記念事業を展開していきます。



消費生活モニターによる
量目検査会



東部消防署が60年5月に開設され、1局8消防署体制となりました



白井聖地公園の第1回公募が63年3月に行われました

第三次総合五か年計画は、昭和五十九年四月から今年三月までの五年間にかけて実施している計画です。
 メンターマを、「心のかよう活力ある生活都市」づくりとし、市民の皆さんのご協力で、計画の目標をほぼ達成しました。
 五か年の成果の一部を写真で紹介いたします。

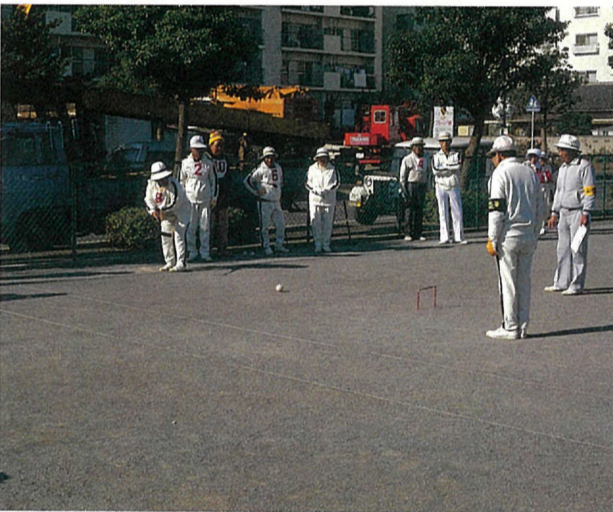


松飛台・二十世紀が丘・八柱市民センターが開設され、市民センターは十六カ所になりました(写真は八柱市民センター)



特別養護老人ホーム「松寿園」が六十二年に、「南花園」が六十三年に開園し、デイ・サービスを始めました(写真は南花園)

写真てびき
第三次総合五か年計画
 主な成果



五面のコートをもつた中央ゲートボール場が六十年七月に完成しました



旭町中学校が六十年四月に、新松戸西小学校が六十二年四月に開校し、市立の中学校は二十校、小学校は四十七校となりました。また、中学校全校に格技場が整備されました(写真は新松戸西小)



自転車駐車場の整備が進められ、穂台駅前南口第一自転車駐車場の完成で、市内の全駅周辺が、自転車放置禁止区域になりました



五十九年十月に小金原体育館が、六十一年十月には常盤平体育館が完成し、市内に体育館は六カ所となりました(写真は常盤平体育館)



松戸駅西口地下駐車場が六十年十月に完成し、翌年から順次、駅西口高架遊歩道・駅東西自由通路・駅東口デッキが完成しました



都市計画道路の整備も着々と進められました(写真は3・3・7号線新松戸立体交差点部)